

令和4年度

**北塩原村の教育に関する事務
の管理 及び 執行状況の点検
・ 評価報告書**

北塩原村教育委員会

令和4年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」の実施方針

1 趣 旨

北塩原村教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十六条の規定に基づき、主要な施策や事業の取り組みについて点検及び評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにすることによって、効果的な教育行政の推進を図る。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出すると共に、公表を行うことで、村民への説明責任を果たし村民に信頼される教育行政を推進する。

2 実施方法

- (1) 点検及び評価の対象は、「令和4年度北塩原村教育委員会の重点施策」並びに「教育委員会の活動状況」とする。コロナウイルス感染症対応により実施できなかった事業についても対象とする。
- (2) 点検及び評価は、当該年度の施策・事業の状況を総括すると共に、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、年1回実施する。
- (3) 施策・事業の実施状況をとりまとめ、事務局員の自己評価、教育委員会評価を実施し、学識経験者（北塩原村教育事務評価検証委員）の意見を聴取した上で、最終的な点検及び評価とする。
- (4) 最終的な点検及び評価の結果をとりまとめた報告書を北塩原村議会に提出。
また、報告書は北塩原村HPで公表する。
- (5) 総合評価の基準
S：目標を上回って達成した（100%以上） A：目標をおおむね達成した（100～80%）
B：目標を少し下回った（80～60%） C：目標を下回った（60%以下）

《評価計画》

時 期	内 容	備 考
R5年2月 ～ 4月	事務局員による点検及び評価	教育委員会事務局
6月	評価内容について事務局の説明 教育委員会での評価	定例教育委員会
7月 ～ 8月	教育事務評価検証委員による評価 評価のまとめ	教育事務評価検証委員 事務局
9月	評価結果を議会へ報告	

《 教育委員会の活動状況 》

(1) 会議及び研修

- 4 月 県町村教育長協議会総会（福島市）書面開催
- 4 月 市町村教育委員会教育長会議（福島市）オンライン
- 4 月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市） 欠席
- 4 月 全会津市町村教育長連絡協議会定例会（会津若松市）
- 5 月 市町村教育委員会連絡協議会定期総会（福島市） 欠席
- 5 月 全国町村教育長会総会・研究大会（東京都） 欠席
- 5 月 市町村教育委員会連絡協議会耶麻支会総会（喜多方市）
- 7 月 会津探採地区協議会（会津若松市）
- 7 月 東北六縣市町村教育委員連合会教育委員・教育長研修会（宮城県） 中止
- 7 月 市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会（北塩原村）
- 8 月 教育委員・教育長研修会（福島市）オンライン
- 10 月 市町村教育委員会連絡協議会耶麻支会研修会（西会津町）
- 10 月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市）
- 11 月 県町村教育長協議会研修大会（新地町） 欠席
- 2 月 域内市町村教育委員会教育長会議（喜多方市）
- 3 月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市）

(2) 教育委員会の活動状況

定例会開催：毎月最終の木曜日（基本）

期 日	主 な 内 容	場 所
4 月 1 日 (金)	(臨時会) ○ 教育長職務代理者の氏名について ○ 教育委員会委員議席の指定について	生涯学習 センター
4 月 2 8 日 (木)	○ 令和 4 年第 3 回村議会臨時会報告について ○ 教育事務評価検証委員会委員の委嘱について ○ 教育支援委員会委員の委嘱について ○ 社会教育委員の委嘱について ○ 文化財保護審議会委員の委嘱について ○ 学校給食調理場運営委員の委嘱について ○ 学校教育指導委員の委嘱について（欠員補充） ○ 準要保護児童生徒の認定について ○ 北塩原村立小学校遠距離通学費補助金交付規則の一部を改正する規則 ○ 北塩原村立中学校遠距離通学費補助金交付規則の一部を改正する規則 ◎ 幼・小・中への入園・入学式出席 ◎ 教職員対面式出席	生涯学習 センター
5 月 2 6 日 (木)	○ 沖縄県東村との交流事業について ○ 市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会について ○ 二十歳を祝う会について	生涯学習 センター

期 日	主 な 内 容	場 所
6月30日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年第4回村議会定例会報告について ○ 令和4年第5回村議会臨時会報告について ○ 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について 	生涯学習 センター
	◎ さくら・裏磐梯運動会 中止	
7月28日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度使用教科書図書について 	生涯学習 センター
	◎ 「ちびっこ探検学校」沖縄交流結団式 中止	
	◎ 子どもの主張大会出席	
8月24日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について ○ 全国学力学習状況調査について ○ 令和4年度「沖縄県東村交流の翼」について ○ ふくしま駅伝について 	生涯学習 センター
	◎ 二十歳を祝う会出席	
9月28日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年第6回村議会定例会報告について ○ 令和4年度「沖縄県東村交流の翼」来村中止について 	生涯学習 センター
10月27日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度村PTA連絡協議会要望について ○ 第34回市町村対抗福島県縦断駅伝大会について 	生涯学習 センター
11月24日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度教育委員会重点施策について 	生涯学習 センター
	◎ さくらふれあい文化祭・裏磐梯文化祭 中止	
	◎ ふくしま駅伝結団式・報告慰労会出席（教育長、職務代理者のみ）	
12月22日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年第9回村議会定例会報告について 	生涯学習 センター
1月26日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北塩原村教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則 ○ 令和4年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」について 	生涯学習 センター
2月22日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年度教育委員会顕彰表彰について ○ 準要保護児童生徒（入学準備金）の認定について ○ 令和5年度教育委員会重点施策について ○ 令和5年度当初予算概要（一般会計） ○ 村立幼稚園・小中学校卒業（園）式について 	生涯学習 センター
3月 2日 (木)	（臨時会） <ul style="list-style-type: none"> ○ 村立小中学校長及び教頭の任免について 	生涯学習 センター

期 日	主 な 内 容	場 所
3月23日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年第3回北塩原村議会定例会報告について ○ 令和5年度教育委員会重点施策について ○ 北塩原村立幼稚園長の任命について ○ 北塩原村立幼稚園管理規則の一部を改正する規則 ○ 令和4年度高校入試の結果について ○ 村立幼稚園・小中学校入学（園）式について ○ 令和5年度教育委員会開催予定について ○ 令和5年4月1日付け村職員人事異動内示につて <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 村ほう賞授与式・教育委員会顕彰表彰授与式出席 ◎ 幼・小・中の卒園・卒業式出席 ◎ 転出教職員離任式出席 	生涯学習 センター

令和4年度教育事務の点検・評価

《政策 1》 生涯学習の推進

【重点目標】 生涯学習を通じた協働の村づくりを推進する

（施策 1） 村民の学習を支援するため、学習機会を提供する

【点検及び評価の結果】

（1）令和4年度の取り組み状況

- 村民の生涯学習を支援するため、生涯学習推進計画に沿って、学習ニーズやライフステージに応じた講座等を開設し、生涯学習への取り組みを促す。
- 村民・地域活動団体等との連携を強化し、協働による質の高い学習機会を提供する。
- 生涯学習施設の適切な管理運営を行い、村民の生涯学習への参加意識を向上させる環境づくりに努める。

（2）今年度の主な事務事業

- ・教育講座（幼児2回・家庭6回・子ども体験4回）の開設等
- ・生涯学習センター管理事業
- ・きたしおばら交流フェスタ ⇒ 豪雨被害及びコロナ禍により中止
- ・図書環境の整備及び拡充 ⇒ 図書の更新、図書だより発行、貸出企画

達成状況

項 目	目 標	実 績
主な教育講座等の開催回数 （幼児・家庭・体験）	1 3 回	1 2 回
生涯学習センターの利用人数	延べ1,000 人	延べ8 8 8 人
図書コーナー利用人数	延べ2 0 0 人	延べ2 5 6 人
図書の貸出数	5 0 0 冊	6 7 7 冊

(3) 課題・問題点

- 教育講座の開催回数は当初の計画通り実施出来ており、今後は開催講座の内容とテーマを精査し、より多くの方の参加を見込めるよう検討が必要。
- 生涯学習センターの利用人数については、コロナ禍により過去利用団体の活動が控えているところもあり、未だ従来の利用者数に至らないが、徐々に活動の機運が見られるため、新規利用者の確保に努めたい。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 家庭教育講座について、保護者の参加しやすい参観日に実施し、アンケートの回答より継続した関心の高さが伺える。今後は、保護者が抱える課題に寄り添う内容の検討を図りたい。○ 図書利用について、区長便等による定期的な周知と、新刊を含めた図書整備を継続し、新規利用者の確保にも至った。 今後は、教育講座の開催や団体の活動と連携させた活用や、各幼小中学校との連携による図書利用の機会を増やす方針も検討を図りたい。
---	---

（施策２） 生涯学習ボランティア等の活動を支援する

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 学校支援地域本部事業『学校の応援団』を継続し、無理のない範囲で地域住民が活躍する場の提供や、生きがいに貢献する。

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 学校支援地域本部事業 ⇒ 各幼小中学校への支援ボランティア員の派遣
- ・ 生涯学習人材派遣事業 ⇒ 文化団体等への活動支援（２件）

達成状況

項 目	目標	実績
生涯学習人材派遣事業の申請件数	２件以上	２件
「学校の応援団」の申請数	１０件以上	４５件

（３）課題・問題点

- 生涯学習人材派遣事業の申請について、団体の活動支援につながるよう、広報やホームページを活用した周知が必要。
- 「学校の応援団」の支援ボランティア員や、生涯学習指導者への登録者の高齢化が進み、登録を辞退する方が増加してきており、新規登録者の増加につながる周知と、人材の発掘が必要。

（４）評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 生涯学習人材派遣事業の申請について、団体の活動支援に繋がっている。 今後は、生涯学習指導者との連動や、より多くの団体支援につながる周知を図りたい。○ 「学校の応援団」の申請がコロナ禍において従来の実施回数に戻りつつあり、新規の依頼もあるなど、地域と学校の連携の高さが伺える実績となっている。 今後は支援する地域の方の高齢化に対応できるよう、新規の支援員の確保が必要。
---	--

（施策３） 生涯学習情報の提供を充実する

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 各課及び関係団体等と連携し、生涯学習カレンダーを充実する。
- 村広報紙やホームページを活用した生涯学習情報提供を充実する。

（２）今年度の主な事務事業

- ・生涯学習カレンダーの制作
- ・社会教育情報の発信 ⇒ 広報紙、チラシによる活動情報発信

達成状況

項 目	目標	実績
村広報紙による社会教育情報発信数	１２回	１０回
生涯学習カレンダー発行	１回	１回
住民団体紹介数	４団体	３団体

（３）課題・問題点

- 生涯学習主導者一覧に掲載している指導者の高齢化が進み、人材不足が深刻化している。そのため、今後は新規指導者の確保と活用に力を入れる必要がある。

（４）評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 広報紙の発信、生涯学習カレンダーの発行について、予定通り実施にいたっている。今後は生涯学習推進に向けた機運を高めるため、ホームページやフェイスブックでの発信との併用化を図りたい。○ 住民団体紹介数について、コロナ禍で活動を休止している団体が多かったが、作品展示の記事と絡めて団体情報の掲載を図ることが出来た。
---	---

《政策 2》 学校教育の充実

【重点目標 1】 幼・小・中の一貫した教育を目指す連携を推進する

【重点目標 2】 知・徳・体のバランスの取れた子どもを育てる

（施策 1） 地域全体で幼・小・中の一貫した教育をめざした連携を強化し、知・徳・体のバランスの取れた子どもを育てる

【点検及び評価の結果】

（1）令和 4 年度の取り組み状況

- 校長会・副園長教頭会・学校教育指導委員会を推進の核として幼・小・中の連携を図り、各校共通課題を設定し、課題解決に向けた対策を実践する。
（中学校区単位において幼小中連携推進協議会を開催）
（幼稚園と小学校連携：交流、授業参観、合同マラソン記録会等）
（幼稚園と中学校連携：交流、職場体験等）
（小学校と中学校連携：授業・部活動見学、中学校教諭による外国語活動・陸上練習支援等）
- 郷土理解学習、異文化体験等を推進することにより、村の良さを再認識し、ふるさと理解（ふるさと愛）を育てる。

（2）今年度の主な事務事業

- ・ 村指定公開授業研究会
- ・ 「北塩原村学びのスタンダード」 共通実践
- ・ 教育委員会顕彰表彰
- ・ 幼小中連絡推進協議会

達成状況

項	目	目標	実績
全国学力・学習状況調査における全国と本村の比較値	小学 6 年生	100%	96.4%
	中学 3 年生	100%	104.8%

※全国平均正答率を100とした際の本村の数値

項	目	目標	実績
平日の家庭学習時間	小学 6 年生	80.0%	81.3%
	中学 3 年生	40.0%	12.5%

※小学校 6 年生は 1 時間以上学習する児童の割合

※中学校 3 年生は 2 時間以上学習する生徒の割合

(3) 課題・問題点

- 校長会・副園長教頭会・学校教育指導委員会などにより各校の課題を共有し、引き続き、幼小中の連携を図りながら課題解決に取り組んでいくことが必要である。
- 中学3年生の平日の家庭学習時間が少ないため、学校と連携して指導・改善を図っていく必要がある。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 3年ぶりに教育委員会顕彰表彰式を開催し、関係者が一堂に会して受賞者の栄誉を讃えることができた。学校生活も、新型コロナウイルス感染症流行前の日常に戻りつつある。○ 村指定公開授業研究会を開催し、教員の授業力向上を図ることができた。
---	---

（施策２） 特色ある学校づくりを推進する

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 確かな学力、豊かな心、たくましい体の育成を図るため、学校独自の取り組みを支援する。
- タブレット端末が全児童・生徒に導入されたため、タブレット端末を積極的に活用し、ＩＣＴ教育の充実に努め、学力向上につなげる。
- 小学校の学習指導要領の改訂に伴う英語科及び外国語活動、プログラミング教育を支援する。

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 総合学習等学校運営事業交付金
- ・ 森林環境学習事業
- ・ 学習チャレンジサポート事業
- ・ ＩＣＴ教育推進事業
- ・ 複式学級学習支援事業
- ・ 外国語指導推進事業
- ・ 学校活動応援事業

達成状況

項 目		目標	実績
漢検、英検の 合格者の割合	小学６年生	50.0%	44.4%
	中学３年生	50.0%	25.0%

※小学校６年生は漢検６級以上の級保有者の割合

※中学校３年生は英検３級以上の級保有者の割合

※特別支援学級を含む

（３）課題・問題点

- 本年度は学習チャレンジサポート事業を活用して対象の児童生徒がほぼ受検したことから、今後も悉皆レベルでの受検を継続する。
- 各学校へ電子黒板を導入するなど、ＩＣＴ周辺機器の整備は進んでいるが、今後も各学校と協議の上、児童生徒の学習に必要な機器の整備を進めていく必要がある。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 各学校において実施する事業に対する支援・交付金については適切に執行することができた。○ 検定の受検者は悉皆レベルとなっていることから、今後は合格率が高まるよう学習指導を行っていく。○ 電子黒板など新たな I C T機器を導入し、G I G Aスクール構想の推進を図ることができた。
---	--

（施策３） 特別支援教育を充実する

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 発達検査を有効に活用するとともに、関係機関との連携強化、支援体制の充実に努める。

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 特別支援児支援体制整備事業

達成状況

項 目	目 標	実 績
支援員配置を必要としている学校へ支援員を配置している割合	100%	100%

（３）課題・問題点

- 発達検査件数が年々増加傾向にあり、専門調査員の負担が大きくなっている。
- WISC－Ⅳなど高度な専門検査が要求され、有資格者でないと出来ない検査項目もでてきている。
- 児童生徒に対する支援も多種多様となっているため、どの支援員も同じような対応が出来る様に研修機会の実施が必要である。

（４）評価

A	○ 事務局、幼稚園及び小中学校の連携強化により、就学への切れ目のない支援と支援を要する園児児童生徒の情報共有を図ることができた。
---	--

(施策4) 教員の教師力を高める

【点検及び評価の結果】

(1) 令和4年度の取り組み状況

- 幼・小・中連携による授業研究会の充実を図るとともに、各種研修会への参加機会を積極的に支援し、教員の教師力・授業力・地域理解力を高める。
- GIGAスクール構想による全小中学校の児童生徒へのタブレット端末導入により、教職員もタブレット端末利用やICT教育向上のための研修会を実施し、教職員のICT教育関連知識等の向上に努める。

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 転入教職員村内研修
- ・ 学校教育指導委員先進地研修
- ・ 教育講演会
- ・ タブレット端末の効果的活用におけるICT教育研修

達成状況

項 目		目標	実績
村内研修への参加教職員の割合		90.0%	70.6%
教育講演会への参加教職員の割合		90.0%	88.9%
学校に行くのが楽しいと思う子の割合	小学6年生	90.0%	87.6%
	中学3年生	90.0%	87.5%

(3) 課題・問題点

- 転入教職員村内研修は、例年早い段階での実施を検討しているが、時間的に厳しい教育課程の中では、夏休み期間中での実施となっている。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 幼・小・中の連携による授業研究会等の開催により、教員の教師力や授業力を高めることができた。○ 教員の資質・能力の育成をテーマに開催された教育講演会では、村内の教職員が授業づくりの基礎や授業に対する考え方などについて学ぶことができた。
---	---

《政策 3》 青少年の健全育成の推進

【重点目標 1】 心豊かで規範意識のある青少年の育成を推進する

【重点目標 2】 若者の育成支援

（施策 1） 「笑顔いきいきみんなで子育て宣言」を推進する

【点検及び評価の結果】

（1）令和 4 年度の取り組み状況

- 学校・家庭・地域と連携し、「ノーメディア（メディアコントロール）」を推進する。
- 学校・家庭・地域と連携し、「あいさつ運動」を推進する。

（2）今年度の主な事務事業

- ・ 青少年健全育成会議開催 ⇒ 令和 4 年 5 月 1 7 日（火） 2 2 名出席
北塩原村コミュニティセンターホール
- ・ 子どもの主張大会開催 ⇒ 令和 4 年 7 月 1 4 日（木） 1 5 4 名参加
北塩原村立第一中学校

達成状況

項 目	目 標	実 績
子どもの主張大会発表者数	8 人	8 人

（3）課題・問題点

- 入場者制限等により、3 年ぶりに子どもの主張大会の開催に至った。
今後は、より多くの来場者を迎える対策と合わせ、開催会場での熱中症対策にも力を入れる必要がある。

（4）評価

A	○ 子どもの主張大会の実施と、夏休み期間前に非行防止等啓発のチラシを配布し、非行防止等を考える機会の創設を図ることができた。
---	--

（施策２） 家庭の教育力の向上を図る

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 各家庭が子どもの健全な成長・発達を促す家庭教育を行えるよう、学習機会や子育て支援事業を充実する。

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 幼児教育支援事業 ⇒ ２回（さくら・裏磐梯幼稚園：人形劇観賞）
- ・ ブックスタート事業 ⇒ ３回（偶数月の第１木曜日）
- ・ 家庭教育支援事業 ⇒ ５回（子育て講座：さ幼・裏幼・さ小・裏小）
（保健講座：裏中）

達成状況

項 目	目標	実績
講座等開催回数	１５回	１０回

（３）課題・問題点

- 各幼稚園や学校での講座に求めるニーズが異なり、かつ学校と保護者が抱える悩みも異なるため、両方が抱える課題や意向を聞き、保護者へのさらなる家庭教育への関心を高める働きかけを行う必要がある。

（４）評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、計画講座のうち一部実施が出来なかったものがあるため、コロナ禍でも可能な方法の検討も進めたい。○ 乳幼児、青少年期に向けた講座への参加率は高く、興味や関心度の高さが伺えるため、今後は、講座への参加を機会にさらなる生涯学習推進へとつながる働きかけを行いたい。
---	---

（施策３） 明るい地域社会の環境づくりを推進する

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 家庭・学校・地域社会が協力・連携する関係を築き、心豊かで規範意識を持つ青少年の育成に努める。
- 地域行事への積極的な参加を進め、地域を知ることによりふるさとに誇りを持てるように努める。

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 地域行事への積極的な参加奨励
- ・ 青少年健全育成標語募集

達成状況

項 目	目 標	実 績
健全育成標語へ参加児童生徒の割合	65%以上	71.2%

（３）課題・問題点

- 各学校の実情により、従来の選考方法では２名の選出が困難な事態も出ていることから、選出方法等について柔軟に対応する必要がある。
- 地域学校協働本部事業（学校の応援団）と連動させながら、地域と学校がより近い環境をつくれるよう、地道な事業の継続と周知活動を行う必要がある。

（４）評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 青少年健全育成標語を通して、子どもたちが日ごろから考えていることを表現することができ、青少年育成及び相互理解の一助とすることができた。 <p>今後は、刻々と変化する社会情勢の変化を把握し、実情にあった内容の検討と、より多くの児童・生徒からの応募につながるよう、青少年健全育成に関する興味関心を高める周知を進めていきたい。</p>
---	--

（施策４） 若者による地域づくりを支援する

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 若者や女性（以下「若者等」という）を核としたコミュニティの形成や、村づくりに主体的に参画する若者等の発掘・育成を図り、若者等が活躍できる村づくりを支援する。
- 村づくりへの興味関心を促し、共に学びながら若者等が活躍できる環境づくりに努める。

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 青年交流促進事業 ⇒ 新型コロナウイルス感染症拡大により中止

達成状況

項 目	目標	実績
他地区との青年交流事業開催応援	１回	—

（３）課題・問題点

- 南陽市で１０月に開催している「きくらら祭」への参加を目指し、関係団体と協議を進めたが、開催時期に村内の感染状況が拡大傾向にあったため辞退することとした。

今後、コロナ禍で停滞している青年団体の活動機運を高める働きかけと、公民館事業と連動させながら、再度村づくりの機運を高める事業の実施と団体との継続した関係性の構築が必要。

（４）評価

B	<ul style="list-style-type: none">○ 南陽市や近隣市町村の青年団体との交流事業の実施は、コロナ禍で思うような実施が困難となっていた。 <p>しかし、一方で公民館事業を機会に再度活動への動き出しを行うような関係性を再度創設する機会となり、令和５年度以降も可能な団体の活動支援と、村内の青年団体が自主的に活動を行える仕組みの検討を進めたい。</p>
---	---

《政策 4》 「ひとり文化」運動の推進

【重点目標 1】 芸術・文化の振興を図る

【重点目標 2】 歴史資源の保存・継承を進める

（施策 1） 芸術・文化活動の活性化を図り、振興事業を展開する

【点検及び評価の結果】

（1）令和 4 年度の取り組み状況

- 自主活動グループの育成・支援を行う。
- 地区文化祭において芸術・文化に触れる機会や展示・発表の場を提供するとともに、地域間・世代間の交流を促進する。

（2）今年度の主な事務事業

- ・自主活動グループの育成・支援事業
- ・地区文化祭事業 ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
各小中学校の文化祭で、村文化団体連絡協議会へ加盟の 3 団体の作品展示を行い活動支援を行った。
- ・成人セミナー ⇒ 7 月 3 日（日）裏磐梯サイトステーション
SNS・カメラ講座 11 名参加

達成状況

項 目	目 標	実 績
地区文化祭への地域からの 出展及び出演数	35 団体以上	—
文化団体連絡協議会への加盟団体数	16 団体	14 団体

（3）課題・問題点

- 文化団体の高齢化が進み、かつ、コロナ禍による活動自粛の動きが加速しており、団体発表の機会創設や、会員募集、育成の支援が必要。

（4）評価

B	<p>○ 既存の歴史ウオークや、小中学校文化祭での作品展示を行い、団体の作品を発表する機会を創設することで、団体活動の継続と育成を目指した。</p> <p>今後も可能な限り団体活動育成と継続した活動への支援、働きかけが必要。</p>
---	--

（施策２） 歴史・文化資源の保存・継承を進める

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 村内の城館跡等に代表される史跡の発掘・保存・整備・適切な活用を進める。
- 柏木城跡の国史跡指定に向けた事務を進める。
- 地域の伝統文化・郷土芸能、文化遺産の保存に努める。

（２）今年度の主な事務事業

・文化財保存利活用事業

⇒ 国史跡指定となった柏木城跡の現地説明会及び、生涯学習センターでの常設展の開催。

その他、写真展「裏磐梯の風景」や、フェルト展等の開催により、村文化資源の活用と、文化資源への関心を高める醸成を図った。

・文化財調査事業

達成状況

項 目	目 標	実 績
文化講演会の回数	１回	—

（３）課題・問題点

- 令和４年３月１５日に国指定史跡となった柏木城跡の継続した外部発信と合わせ、今後は保存・整備・活用に関する計画を策定し、計画に沿った整備が求められる。

そのため、当面は柏木城跡を軸とした公民館事業の実施と、その他、村内に数多くある文化資源の整備、保存、利活用にも計画的に取り組む必要がある。

（４）評価

A	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館事業等との兼ね合いで、村単独での歴史講演会の開催は出来なかったが、関係団体と連携した柏木城跡の現地説明会の実施、また、会津若松市にある県立博物館での柏木城跡出土品の展示、関連の講演会を実施し、村文化資源の外部発信を図ることができた。
---	--

(施策3) 村民が、村の文化遺産・豊かな自然を再認識する機会を充実する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和4年度の取り組み状況

- 村の文化遺産や自然の豊かさを学ぶ機会を通して、村への愛着心や誇りの気持ちを育てる。
- 村の魅力（歴史・文化・自然）に触れるイベントを行い、村内外における交流を促進する。

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 会津米沢街道歴史ウォーク
⇒ 令和4年6月18日（土） 定員300名（251名参加）
- ・ 成人セミナー
⇒ 令和4年7月3日（日） 11名参加
- ・ 子ども体験活動事業
⇒ 年4回実施（66名参加）
- ・ 青年交流促進事業
⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

達成状況

項 目	目標	実績
歴史ウォークへの参加者数 (計画定員に対する割合)	80%以上	83.6%
成人セミナーへの参加者数	20人	11人

(3) 課題・問題点

- 歴史ウォークの継続した事業実施により、歴史の道百選の会津米沢街道や、国指定史跡の柏木城跡等の歴史的価値を広く共有し、地域一体となった整備を図る必要がある。
また、各公民館事業でもこうした文化資源を活用し、効果的な事業実施と交流促進につなげ、地域活性化を図る仕組みづくりが必要。

(4) 評価

A	○ 3年ぶりに歴史ウォークが開催でき、令和5年度ではさらなる内容の充実を図り、村の文化資源を広く関心を持たせ、それらが軸となりながら、地域活性化につながる施策を検討していきたい。
---	---

《政策 5》 「ひとリースポーツ」運動の推進

【重点目標】 「心身ともに健康な暮らし」をめざし、スポーツ・レクリエーションの振興を図る

（施策 1） スポーツ交流の促進を図る

【点検及び評価の結果】

（1）令和 4 年度の取り組み状況

- スポーツ・レクリエーションを通じた村民相互、また、交流自治体等との交流を促進する。

（2）今年度の主な事務事業

- ・スポーツ団体等補助金（スポーツ大会等出場激励金）
- ・スポーツ少年団本部事業
- ・スポーツ交流派遣事業（家庭婦人バレー、市町村対抗軟式野球・ソフト）
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症により家庭婦人バレーは参加を辞退
- ・スポーツ大会各種（村長杯グラウンドゴルフ大会、ビーチボールバレー交流会）
 - ⇒ 雨天により村長杯グラウンドゴルフ大会は中止

達成状況

項 目	目 標	実 績
スポーツ大会各種への参加者数	1 5 0 人	8 2 人
体育協会への加盟団体数	2 5 団体	2 0 団体

（3）課題・問題点

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、大会各種への参加や活動を自粛する団体は未だ多く、そうした影響により登録団体が活動を止め解団しているケースがあるように思われる。生涯学習推進の観点からも村民一人「一スポーツ」の機運を再度構築するため、関係各課、団体と連携し事業推進を図る必要がある。

（4）評価

B	○ スポーツをとおした交流人口の拡大と、健康づくりへの機運を高められるよう、社会体育事業の見直しや、効果的な事業実施への検討を進めたい。
---	--

（施策２） 村民の健康維持・体力向上を図る

【点検及び評価の結果】

（１）令和４年度の取り組み状況

- 健康づくりの基礎となる『動く』『歩く』『走る』活動を推進し、村民の健康保持増進・体力向上に努める。
- ふくしま駅伝に継続的に参加することで、村民の『走る（歩く）』ことに対する機運を高めるため、現登録選手の継続育成及び新規候補者の発掘・育成・強化に努める。
- 体育施設の適切な管理運営を行い、村民の健康・スポーツ活動への参加意識を高める環境づくりに努める。

（２）今年度の主な事務事業

- ・ 福島県縦断駅伝競走大会参加事業 ⇒ 総合順位 30 位（R3 26 位）
第 4 区村の部区間賞受賞
- ・ 体育施設管理事業

達成状況

項 目	目 標	実 績
ふくしま駅伝登録者数	3 0 名	2 7 名
体育施設利用人数	延べ 5, 000 人	延べ 5, 117 人

（３）課題・問題点

- ふくしま駅伝事業への関心がうすい村民への参画方法と生涯学習推進計画にある「村民ひとりスポーツ運動」の機運を高める施策の検討が必要。
- コロナ禍におきても、活動を再開する機運が高まっている傾向があるため、今後は安全な施設利用が進むよう、計画的な施設の整備と、活用計画の見直しも進める必要がある。

（４）評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ ふくしま駅伝における登録者数は目標値には達しなかったが、活動を支援する動きで広がりを見せる側面もあり、継続した事業の実施に向け、関係者と連携して事業推進を図りたい。○ 体育施設については、徐々に活用方法の見直しと計画的な修繕の検討を進める。
---	---

《令和5年度教育事務評価検証委員の総括的意見》

(1) 生涯学習の推進

○家庭教育講座などを保護者の参加しやすい参観日に実施したことは良いことである。

○評価はこのままで良い。

(2) 学校教育の推進

○中学生の平均家庭学習時間が目標より少ない数値となっているのは、スマートフォン所持率との関係性が深いと思われる。

○少子化に伴い高校が統合されているが、定員割れの高校が多くなり以前より合格しやすい状況になっている。受験などに対する競争意欲のある子供が少なくなっている。

○評価はこのままで良い。

(3) 健全育成の推進

○子どもの主張大会では、小中学生共に多くの情報を得て発表していると感じた。

○評価はこのままで良い。

(4) 「ひとり一文化」運動の推進

○新しいものばかりではなく、古いものでもいいものは残してもらいたい。会津米沢街道など歴史に残るものは残してもらいたい。

○今生きているものが次の世代にどう残していくかが重要である。

○評価はこのままで良い。

(5) 「ひとりのスポーツ」運動の推進

○評価はこのままで良い。